

# サロンあべの

VOL.186

## まちを変える路面電車・LRT

へサロン・あべのへ11月の出会い

平成13年11月17日(土)、育徳コミュニティセンター研修室に、「大阪にLRTを走らせる会」の磯崎章一氏(代表世話人)とアシスタントの浜村陽一氏(会員)をお迎えして、11月の出会いを持ちました。

磯崎氏は、脊髄損傷の障害を持ち電動車いすを使用しておられます。これまでも数多くの交通関係の調査や要望を提案してこられました。この経験を生かして高齢者や子供、妊産婦も含めて誰もが安全に利用しやすい交通機関を考えに入れて活動されています。賛同者は、障害の有無に関係なく誰でも参加して会の運営に協力。その会で障害者を中心に活動している意味は、交通アクセスがある程度出来上がってきた現在、一般の人たちとこの問題を考えていきたいからと言われます。広範囲の市民の参加で会が形成されている活動そのものがバリアフリーの活動ともいえる「大阪にLRT

Tを走らせる会」のあり方からお話をしていただきました。

LRTとは何？

LRT (Light Rail Transit) はライト



大阪にLRTを走らせよう・・・と話す 磯崎さん(左)と浜村さん

LRTのある街なみ



フランス・ストラスブール

軽い・レールⅡ鉄道・トランジットⅡ交通機関の略。スーパー市電、軽快電車などとも訳されている。ヨーロッパ、アメリカなどでは、超低床車両を採用した都市交通システムで、停留所と車両の床面の段差を少なくしている。ステップなしで一步で乗り込めるから、高齢者や車いす利用者でも乗り降りがしやすい。乗車口や車内の通路

・連結部分も幅広くなっていて移動しやすい。また、バスなどに比べステップによる垂直移動もなく、揺れも少ないし輸送量も多い。街の景色も眺められ楽しめる。それに環境問題や道路の混雑・渋滞の解消にもなる。

#### ヨーロッパのLRT

ヨーロッパのLRTは車体がスマートで街の景観に溶け込んでおり、道路全体が歩行者天国になっている。人と街が一体になり路面電車が共存している。自動車の街への乗り入れは規制されている。外から街へ入る人たちはトランジットセンターで乗り換えて、トランジットモールへやって来る。例えば、フランスのストラスブール・グルノーブル、ドイツのフライブルク。そして、オーストラリアのシドニーなど。

#### 日本の路面電車

日本の路面電車は、自動車交通の発達で

衰退している。19都市20事業者で運行されているが、大阪の阪堺線のように赤字路線が多い。そのような中で、97年に熊本市営(地面から10cm、リフト付きで床が上下する)で、99年に広島電鉄宮島線が超低床の車両(LRV)グリーンムーバーを導入した。昨年7月から名古屋鉄道美濃町線(新岐阜(新潟))で活躍している800型複電圧車両が部分低床となり利用しやすくなっている。また、国土交通省では95年からLRT支援制度が始まっている。路面電車にすることにより、地下鉄の10分の1のコストで敷設が可能となり、多くの地域に導入できる。

低床車両は、従来の車軸の上に車体を載せるのではなく、車体の両端の内側に車輪が個別に取りつけられているので床を低くできる。モーター類は屋根に取り付けられている。

#### 大阪にLRTを走らせる

大阪には、阪堺電鉄の路面電車が走って



チンチン電車の走るまち 晴明中央公園 (上) と松虫駅  
(サロンの絵はがきから)

いる。阪堺線(恵比寿町から浜寺)と上町線(阿倍野橋から住吉大社)の2路線がある。この軌道を活用して新しいまちづくりを考えたい。

路面電車の利点は、停留所へのアクセスがしやすい(平面移動ができ、上下移動が少ない)。段差が少なく乗降がしやすい。地上を走り、街の風景が見える。街が見えることにより、自分がいる位置関係がよく解り、商店街などウィンドショッピングに

も関心が高まる。また地上を走ることです。留所やホームをきめ細かく設置できる。車両も頻繁に運行される。…、などなど。

しかし、現在の車両の乗車口は高いし、ホームへのアプローチも車いす使用者には使いづらい。この車両を超低床車両(LRT)にすることで、誰もが利用しやすい路面電車になる。それを導入促進するためには、多くの人たちにランジットモールの「まちづくり」に関心を持ってもらいたい。

そして、誰もが自由に移動でき、街と交通が相互に作用する中で街の活性化を図り、市民が安全に暮らせる人間中心の「まちづくり」をLRTに託して21世紀の姿としたい。

お茶の時間を挟んで参加者からの感想や質問をいただきました。

「毎日、上町線を利用。スカートの幅により乗り降りが難しい時があります」

「LRT化は、これからの高齢者社会に適していると思います」

「昔は、上町線によく乗ったけれど段差が高くなるともに乗りづらくなった。低床車両の購入をぜひ実現してほしい」

「東京世田谷線(路面電車)の駅はスロープになっており、車両の乗降口も広く車内の通路も広い」

「21世紀の車両システム導入の話に共感。まちづくりグループで応援したい」

「大阪の交通は東西線が少ない。JRの貨物線なども活用しては…」

「ランジットモールになると、路面電車と人とのトラブルが怖い」

「サロンでチンチン電車を貸し切りしたこ  
と、懐かしく思い出しました」

「電車を変えるだけでなく、街の風景、人  
の動き全体を変えて行く夢のような話」  
など、いろいろな感想が述べられました。

磯崎氏からは、

・世田谷線は車体を低くせず、ホームをス  
ロープにし出入口の幅を広くした。  
・人と路面電車の乗降事故については、車

## お知らせ

△サロン・あべのV1月の出会い

日時…1月19日(土)午後1時～4時

場所…育徳コミュニティセンター2階

研修室(スロープ・車いす対応)

〔大阪市阿倍野区阪南町5-15-28〕

TEL06-6621-1901

・最寄り駅…地下鉄御堂筋線「西田辺駅」

内容…人生いろいろ、輝いて生きよう

～車いすから見えてきた、新し

い価値観とさまざまな思い～

パネラー…宮脇 淳氏

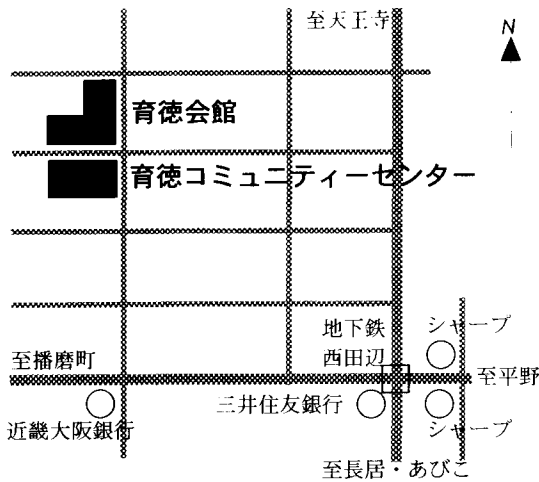
「サロン・にし」代表

会費…なし

両を歩道際まで寄せる方法もある。

「大阪にLRTを走らせる」のは、たやす  
く出来る話ではないが、10年、20年後を見  
通してやれる事業と考えている。地元の事  
業者にも呼びかけて、市民活動に盛り上げ  
たい。難しいがやりがいがある仕事。と力  
強いお言葉があり、私たちも将来の夢を一  
つ見つけた思いがしました。

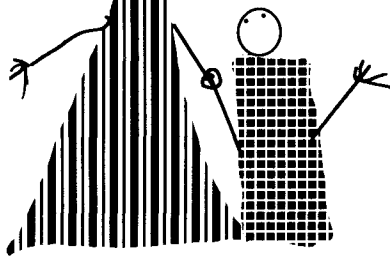
参加者21人(富田慶子)



問い合わせ先…

TEL06-6691-1028 (富田慶子)

ほのぼのとしたふれあい、いかがです。



これは便利。

**一筆箋**

1冊100枚綴 ¥150-

<サロン・あべの>の活動資金調達にご協力ください。

## 障害者の雇用と 就労を考える

7

障害者にとっての  
「働くこと」の意味・意義

茅原聖治

第二に、「生活の糧を得る手段と生活の安定」である。このことは、人が働くことのも最も本質的で本源的な理由である。衣食住を充足するために、企業や事業所に労働を提供して賃金を得、その賃金を財やレジャーの消費に充てたり、将来に備えて貯蓄をするといった経済行為を行うことは障害者といえども例外ではないはずである。

第三に、「同等の行動と周囲の承認」である。通常、人はある年齢を過ぎれば働くようになり、一般に「一人前」と認められる。したがって障害者も働くことができれば、一般の人と同じであり、同時に社会からは「一人前」と認識されるようになり障害者自身の自尊心が高まることになる。

社会からは障害者は子ども扱いされることが多いが、障害者は働くことにより、社会の見る目が通常の大人に注がれる視線に変わる効果が労働にはあると考えられる。

第四に、「社会参加と社会貢献」である。「働く」ということは自然にその職場を中心とした社会への参加を促す。自宅に閉じこもっている閉じた生活に比して、働く障害者は通勤、職場、仕事の後の付き合いな

ど、明らかに外へ開かれた生活を展開することになる。さらに働くことによつて何らかの生産物を産し、またサービスを提供することで、障害者自身が「社会の役に立っている」という前向きな気持ちを得ることができるのである。

最後に、「自己実現と社会に対する啓発の役割」がある。A・H・マズローの欲求満足の階層性によれば、生理的欲求が満たされれば社会的欲求、そして最も高次の欲求が自己実現の欲求とされている。そしてこの自己実現は、仕事や趣味、社会的活動などの中で満たされるものであると考えられている。先にQOLの一つに労働を挙げたように、障害者にとっては仕事の中から自己実現の可能性を見いだす場合が少なくないと思われる。また、障害者が働くことは周りの健常者に障害者を理解させる最も有効かつ即時的な方法であると考えられる。

以上のように、障害者にとって「働くこと」は健常者のそれ以上の意味・意義があり、障害当事者の満足度、経済学で言う効用を、あるいはQOLを高めるものである、と言つてよいだろう。

これまで述べてきたように、障害者が何らかの仕事をする社会的・経済的な背景は、二・世紀を迎えて変化してきている。そこで改めて障害者にとつての働くことの意味・意義を考えてみたい。手塚直樹・松井亮輔は『障害者の雇用と就労』（光生館、九八四年）の中で、障害者が働く意義について次の五点を挙げている。第一に、「個の認識の大切さ」である。これは障害者が持つ障害の種類や程度、歩んできた歴史など、単に働くと言つても個々の障害者の置かれている状況を最大限考慮して働くことを考える必要があることを述べている。

## ★虚礼について

虚礼とは辞書によれば「うわべだけの礼儀」だという。年賀状もそうなのだろう。一年に一度、お互いの状況を伝え合う大事な機会なら虚礼ではないだろう。しかし、この一年の間、まったく会うこともなかったし、新しい一年もまたその予定がないのに「旧年中はお世話になりました。今年もよろしくお願いいたします」などと言うのは虚礼かもしれない。言葉に真実味がないからである。

初対面の人に会ったときにも、このような虚礼の言葉を聞くことが多い。私が教員をしているためか、「また、いろいろと教えてください」とよく言われる。しかし実際に何かを教えてくれと頼まれることはめったにない。だから、単なる挨拶言葉だと思って適当に答えておくことにしていたが、あとから長い質問の手紙を受け取ってしまうこともあり、なかなか難しいものだ。

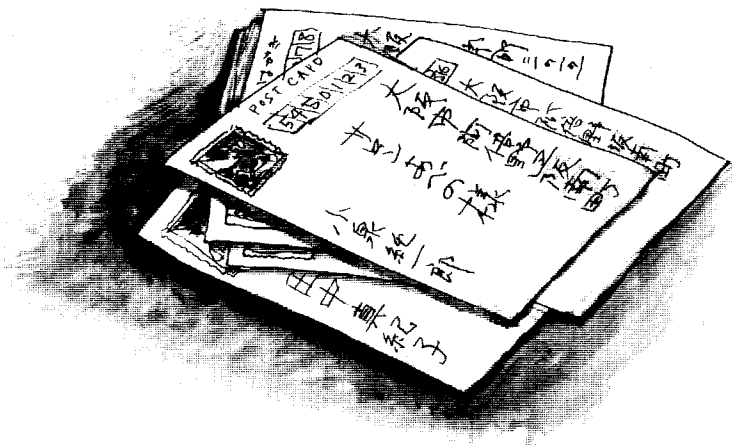
逆に、虚礼の言葉を真に受けて気まず

い思いをしたこともある。何かの集まりに「ぜひ、いらして下さい」と言われて、行ったら誰も応対してくれない。心なしか、相手のほうも「なんだ、本当に来てしまったよ」と困惑した様子である。私のほうも「来るんじゃないかと」騙されたような気持ちになり、時間を無駄にしたことを後悔してしまう。

事情が複雑になるのは、虚礼の言葉とそうではない言葉のちょうど中間の誘いを受けたときである。

たとえば、あるボランティアグループで忘年会を開いた。グループで開くのでから全員に案内とお誘いの連絡をしなくてはいけない。しかし名前だけはグループに登録しているものの、ほとんど活動していない人もいる。こういう人にとつては案内も虚礼にすぎない。もしも忘年会に顔を出したら、なんともいえない気まずさを味わうことになるかもしれない。

難しいのは、以前はグループの中心に



いたのに、いまは何らかの事情であまり活動に参加していない人が同じような案内を受け取ったときである。案内は虚礼であるかもしれないし、そうではないか

もしれない。

このような微妙な立場におかれたとき人がよく使う方法は、あいまいに答えることだ。たとえば「都合さえつけば、ぜひ参加させていただきます」という言い方がある。しかし、これでは集まりの準備をするほうが困る。食事が出る集まりであれば出席する人数を決めておく必要がある。

そこで「ぜひ出たいけれども、出られないかもしれないから食事はいりません」という言い方が考え出された。ただ残念ながら、いまの日本の文化では、これが「出席はしません」というお断りを柔らかく包んだ虚礼の言い方なのか、それとも本当に出席するかもしれないという意思表示の言葉なのか、はっきりとは区別ができない。

集まりのお誘いをするに「都合がつけば出席したい」という返事ばかりが来て、集まりを中止することもできず、開いてみれば数人しか来なかったという経験がある。虚礼の言葉は、やっぱり迷惑なのである。

(知)

この一年をふり返って

今年は二十一世紀(二〇〇一年)という新しい世紀の始まりの年である。二十世紀は戦争や大きい事件が枚挙に暇がないほど多かつただけに今世紀は平和で心穏やかに過ごせますように、と誰しも願っていた。

ところがいざ新世紀を迎えると、相変わらず世界各国で内戦や事件事故が起こっている。殊に九月十一日には米国で同時多発テロが起こり、それに続いて同国で郵便物を生物兵器に変えた炭疽菌による事件も起こった。これらは想像すらしなかっただけに世界中の人々を震撼させたのである。今後ともこうした事件が起こらないとも限らないので、我々は細心の注意を払わな

稲垣 恵雄

③9

## 晴れのち晴れ

ければいけないのではないだろうか。

さて自分自身のこの一年をふり返ってみると、いろんなことがあつたが一言でいえば平穏無事というか、良い思い出の残る年だつた。それというのも十月三日には私たち夫婦が結婚して二十年になるからである。そしてこれまで書き溜めてきた作品の中から六編をえらんで童話集「たまごが ポン！」を出版したことが良い記念になるのではないかと妻と二人で喜んでゐる。

毎年感じることだが、今年も確実に身体の方は弱ってきている。でも妻やヘルパーさんや周囲の人のおかげで大病もせず無事に過ごせたことが何よりありがたく、感謝の気持ちでいっぱいである。

# 植物あれこれ

第三十五回

山口康二郎

## 三寒四温

先月の「公園の手品師」について、問い合わせがありました。わたしの記憶が確かとはいえませんが、吉田正作曲でフランク永井がヒット曲のB面に吹き込んだ歌だったと記憶しています。「有楽町で逢いましょう」や「夜霧の第二国道」など、数々のヒット曲がありますが、わたしが最も傑作と思うのはこの曲です。

枯葉といえはシャンソンの「枯葉」。洋の東西を問わず、散りゆく木の葉には何らかの感慨に浸るのは共通のようです。

さて、表題の「三寒四温」ですが、今年はずしく木枯らし一号が十一月の初めに吹き、十一月下旬に寒波がきて「三寒四温」の状態が続きました。

そんな時、住之江の高齢者学級「いちよう学園」に園芸講座でお邪魔しました。

「三寒四温で今日は寒い日ですね」と話かけましたら、数人の人が、怪訝な顔をされました。それを見てハタと思いがたることがありました。実はわたしも十数年前まで、三寒四温という言葉は徐々に暖かくなる早春の表現に使うものと思っていました。ある会合で挨拶することになり、二月も終わりなので、この言葉を使おうと念のため辞書を引いて驚きました。

曰く「三寒四温とは、中国大陸や朝鮮半島の諺。シベリア高気圧の影響をもろに受ける地方では、この高気圧は、七日間から十日間の周期で強くなったり、弱くなったりするといわれる。強くなったりは寒波が三日間ほど続き、その後四日間ほど寒さは和らぐ状態」

日本はシベリア高気圧だけでなく、太平洋高気圧にも影響されるため、典型的な三寒四温の状態はほとんど現れず、ひ

と冬に一回か二回だといわれています。その現象がいきなり今年には現れたのでしょうか。

それにしても、いちよう学級の先輩方（平均年齢七三〜四歳）は熱心で、いつも頭が下がります。

その先輩から「冬が好きな花はありますか」という質問がありました。

わたしにもはつきりとした答は出来ませんでした。

「植物は人類の大先輩です。長い間かかって、寒さに耐えられる種類もありますが、決して寒さが好きではないのではないのでしょうか」

これがわたしの答です。





## 美智子のこんな話

岸田美智子

どうなるの？

介助制度・全身性制度

二〇〇三年度から福祉制度のあり方が、これまでの行政が権限をもっていった措置制度から、サービス利用者である障害者本人が自己選択・自己決定できる契約制度へと変わります。

このような変化は障害者の生活にとって、どのような影響を及ぼすのでしょうか。本当に障害者の自己選択・自己決定は保障されるのでしょうか。

また、大阪市の全身性障害者介護人派遣事業は、生活介助や外出介助、宿泊介助など幅広く利用でき、とても便利な制度でした。しかし二〇〇三年度に向けてこの制度も、「支援費支給制度」に移行することになり、介助人は契約にもとずいて事業者から派遣することになります。その中で、「ヘルパー資格」の問題や派遣時間数・時給単価などの問題が出てくることが予想されます。今、変化のこの時期に、国の支援費の動向や大阪市独自の全身性制度について、皆さんともう一度話し合い、その行方をよりよいものにしてきたらと考え、このセミナーを開催します。

ぜひ、一人でも多くのご参加をお願いします。

【講師】

・長尾 祥司氏

自立生活情報センターパーソナルサポート

トひらかた スタッフコーディネーター

・古田 朋也氏

法人特定非営利活動法人 ライフ・ネット

トワーク理事長、障害者の自立と完全参

加を目指す大阪連絡会議（障大連）事務局次長

【日時】

二〇〇二年二月三日（土曜日）

午後一時～四時三〇分

【場所】

大阪長居障害者スポーツセンター二階第

一講習室（TEL〇六―六六九七―八六八二）

・最寄り駅Ⅱ地下鉄御堂筋線長居駅または

JR阪和線長居駅

【資料代】

五〇〇円

【連絡先】

自立生活センター・MY・DO（まいど）

担当Ⅱ岸田

〒五五八―〇〇〇二

大阪市住吉区長居西一―九―十二

キミハウス一階

TEL〇六―六六〇九―三二二三

FAX〇六―六六〇九―三二二〇

E-mail

c11-mydo@jasmine.ocn.ne.jp

# さきみみずさん

## 国際ボランティア年

今年には国際ボランティア年でした。いろいろな所でボランティアについての話が聞かれました。サロンでも五月に「サロンアイ」の西浦清輝氏にボランティア活動についての話をさせていただきました。その時「ボランティアに必要なのは誠実さと確実さ」と言われた言葉が印象に残っています。ボランティアは奉仕とか黒衣という言葉聞いたのは二昔ほど前でした。(サロン・あべの)が活動を始めた頃も何のお手伝い(労力的な)もしないでサロンに参加することに戸惑いを感じると言われた方がかなりおられました。そんな時、参加して障害者の意見を聞いていただくこと、健常者の考えを聞かせていただくことがサロン参

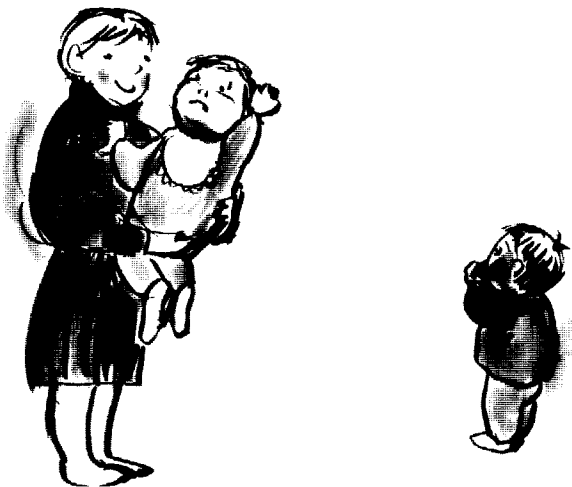
加のボランティアになるのです。とお伝えしてきました。健常者・障害者が縦の関係でなく手をつなぎあえる横の関係を作ってきたいと願いから始まったサロン活動でしたが、現在のサロンではお互いに気軽に話ができる場という認識が変わってきたように思います。他のボランティア活動に参加する障害者も多くなっていると聞きます。また、私たちが何気なく口にして、「障害者」という言葉も今では、「障害のある人」に変わってきている。とある会合で知りました。二十一世紀元年も数日で終わりますが、ボランティア活動のますますの広がりを願って、新しい年を迎えたいと思います。

(け)

### 感謝

カンパ、チケット、CD、白紙、お菓子等、またサロングッズのお買い上げをありがとうございました。

安達尚子、上田 敏、奥田真祐美、  
K・R、神城昭子、阪井健二、高岡正二、  
寺澤奈津、照井邦子、中野咲子、  
表谷恵美子、藤田はる、吉原和郎、  
その他、





サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」1月の社会い

日時:1月20日(日)午後1時30分~4時

場所:淀川区民センター「やすらぎ」

大阪市淀川区 国本町2-14-3

内容:新聞チラシの芸術を満喫しましょう!

~新聞のチラシで様々な芸術品を作りませんか~

パネラー:永川 八重子氏

(淀川在住 チラン折り紙の芸術家)

会費:なし

問い合わせ先:淀川区社協(ボランティア・ビューロー)

☎06-6394-2900

E-mail:kubota53@mbxinet-osaka.or.jp

■「サロン・ひらの」1月の社会い

日時:1月26日(土)午後1時30分~4時

場所:ここにこセンター(大阪市平野区平野東2-1-30)

内容:未定

問い合わせ先:平野区ボランティア・ビューロー

大西 ☎06-6795-2200

■「サロン・にし」1月の社会い

日時:1月12日(土)午後1時30分~4時

場所:西区ボランティア・ビューロー室

大阪市西区新町4-5-14 6階(西区役所隣)

地下鉄=西長堀駅4A号出口からすぐ

市バス=地下鉄西長堀駅からすぐ

内容:大人も、子供も、みんな集まれ!

銭太鼓&鳴子おどり&唱歌で、お楽しみの新年会!

~どきだても、お披露目参加してください!

会費:なし

問い合わせ先:宮脇 ☎06-6541-6417

■「ウイズ東淀川」1月の社会い

日時:1月13日(日)午後1時30分~4時

場所:マン リベレテ(東淀川区民会館の隣)

大阪市東淀川区東深路1-4-53

☎06-6379-0700

内容:新春カラオケ大会

初歌・初春・初笑い、カラオケ好きのみなさん大集合

会費:なし

問い合わせ先:鈴木昭二

☎06-6340-3082

FAX 06-6340-3012

■「サロンのたみ」1月はお楽しみです。

朗読テープのケース内

朗読グループ「糸でんわ」のご協力で(サロン・あべの)紙第185号の録音テープが出来ました。

朗読テープ文庫

- (a) (サロン・あべの)紙は、第1号より第185号までそろっています。
  - (b) (サロン・あべの)十周年記念誌「はーとが、はろー!」
  - (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
  - (d) 「ラジオたんば」放送(「サロン・あべの」平成七年五月の出会い)放送分(30分)
  - (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』」ボランティア活動の周辺(岡本栄一著)糸でんわ音訳
  - (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ」身障者だけで旅した十余年(山田誠1995・2・22著)糸でんわ音訳
  - (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著)糸でんわ音訳
  - (h) 「タヤけ空のオニヤンマ」(牧口二著)糸でんわ音訳
  - (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著)糸でんわ音訳
  - (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著)糸でんわ音訳
  - (k) 「名物 天王寺かぶら」(後田博制作 難波利三監修)大阪市立天王寺図書館制作
  - (l) 「知らされない愛について」(岡知史著)ほげつと音訳
  - (m) 「愛ひとり旅」(奥田真祐美著)糸でんわ音訳
  - (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著)糸でんわ音訳
  - (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著)糸でんわ音訳
  - (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著)糸でんわ音訳
  - (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著)糸でんわ音訳
- ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。

電話は早い、ファックスも  
Eメールもある  
けど、こころ伝わる  
サロンの絵はがきが、いい。

サロンの絵はがき

五枚一組 一八〇円

From EDITOR 編集後記

「公園の手品師」の演技が終わり、秋が過ぎ、おあと冬將軍の出番のようで。こんなとき、稲垣恵雄さんの「たまごが ポン！」で心ほっこりぬくもりませんか？

堂島のジュンク堂と天王寺・MIOの旭屋書店に置いてるそうです。ところで「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著)の音訳が、糸でんわさんのご協力で出来ました。(石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.186 [H.13.12.15.発行]定価¥100.  
代表；山村貴司〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 TEL06-6691-9071  
連絡先；富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL・FAX06-6691-1028  
表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子  
郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941  
印刷；セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDE#2F TEL06-6719-8212